

教育・人材育成、地域づくりへ

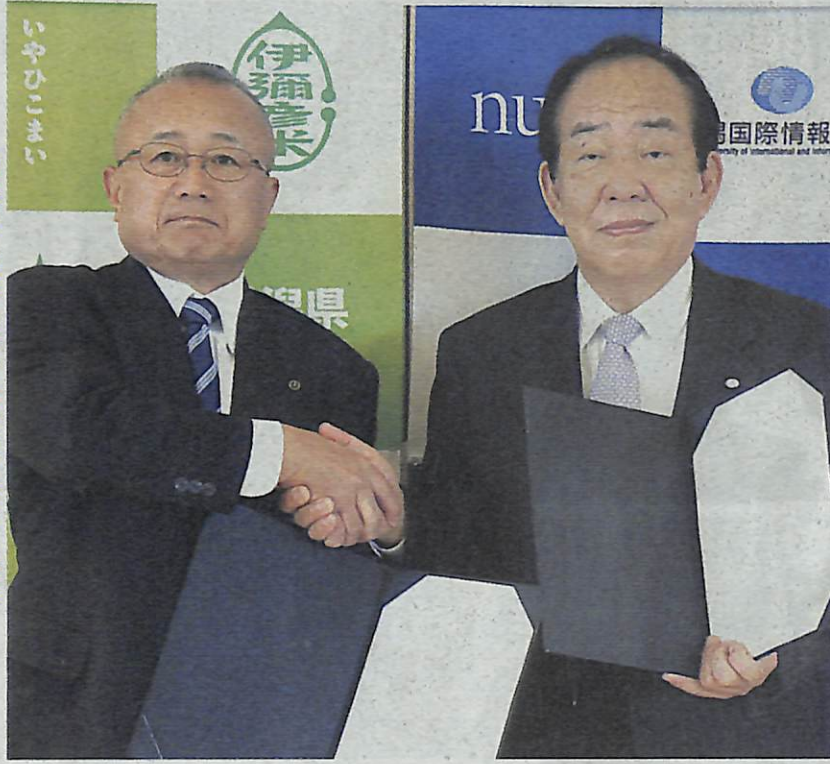
弥彦村と新潟国際情報大学 連携取り組みを協定調印式

秋の学園祭で弥彦の農産物PR

土曜学習に中2の数学

弥彦村出身の教員派遣

弥彦村と新潟国際情報大学は二十二日午前十一時から弥彦村役場大ホールで包括的連携に関する協定の締結式を行い、関係者約二十人が出席のもと、小林豊彦村長と平山征夫学長が協定書に署名し、教育、人材育成、地域づくりなどに連携して取り組むことを決めた。



協定書を持って握手する小林村長と平山学長

弥彦村では昨年度から、小学校五年生から中学校二年生を対象に土曜学習を行っているが、その講師の協力を新潟国際情報大学に依頼したこと

がきっかけとなって今回の協定締結となった。弥彦村では大学との連携協定は今回が初めて。新潟国際情報大学では自治体との包括的連携協定は魚沼市に続いて二件目となる。

協定は人的・知的資源の交流および活用を図り、相互に協力して地域と大学との発展に寄与することを目的に、連携事業としては教育・文化の



協定書にサインする小林村長と平山学長

初めに小林村長、平山学長が協定書一通に署名して握手。あいさつに立った小林村長は協定締結の経緯を紹介し、「今後の取り組みとしては秋の学園祭にお邪魔してイベントに参加する予定となっております。そういったことを機会として新たな連携を提案していきたい。地域的に見ると本村から一番近くにある大学。どうか今後ともお隣同士のよう

な形でお願ひ申し上げたい」と述べた。

平山学長は、実践的な地域づくりに参加することは学生にとっても有意義なこととして大学として

振興、人材育成、地域づくりおよび産業振興、国際交流推進などを掲げている。

締結式には小林村長、平山学長をはじめ、弥彦村から正副議長、副議長、教育長、課長職、新潟国際情報大学から事務局長らが出席。

役割大ホールで行われた締結式



役割大ホールで行われた締結式

か今後ともお隣同士のよう

な形でお願ひ申し上げたい」と述べた。

平山学長は、実践的な地域づくりに参加することは学生にとっても有意義なこととして大学として

でも協定締結を歓迎していることを説明し、「これまでほとんどが国のシステムのなかで補助金をもらってやってきた。これまで来てどうも言っていない。地域自体が自らの力と知恵と人材を投入して、自分でつくるという意欲をもたないと、全国同じような補助事業のなかではやっていけないというのが私のこと、学園祭では弥彦更新する。」

締結式は二十分ほどで終了。協定の期間は三十年三月三十一日までと

し、双方から申し出がない限り、一年ずつ自動で更新する。

一杯、精一杯心を込めてサービスさせていただきます

割烹 清しず

三条市居島1-22-1 電話33-0164